

下館が、 これからも下館であるために。

下館京師会 代表 宇田川大介 Udagawa Daisuke



「やれんのをやってみる」。

下館京師会を率いる宇田川さんは、その言葉を胸に、民間の立場からまちに向き合ってきました。合併を経て市のカタチが変わっても、下館という名が育んできた歴史や感覚は、今も人の暮らしの中に強く優しく息づいていると感じています。

羽黒神社の落葉を資源として活かすプロジェクトや、駅前の景観を少し整える活動など小さな事業の積み重ねによって、「ここがよくなれば、次もよくなる」と信じ、手を動かしてきました。

宇田川さんが主催する下館再発見ツアーでこのまちを訪れた若者が「また来たい」と語る姿に、確かな手応えを感じています。まちを中へ外へ拓きながら、下館を未来へ手渡していく。宇田川さんの歩みは、今日も力強く続いています。

■ 宇田川さんのおすそわけは、
下館のまちの美化などの活動です。

連絡先は、メール：saerasierra@yahoo.co.jp